

# 平成26年度安全管理優良受注者 事例集

 平成26年9月  
北陸地方整備局

はじめに

北陸地方整備局では、建設労働災害防止に資するため、管内における所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止策が優秀であって他の模範となる者を「安全管理優良受注者」として、平成 11 年から表彰しています。

本事例集は、平成 25 年度に完成した 1119 工事 429 受注者の中から、社内の安全管理体制、工事現場における日々の安全活動、安全教育の充実、その他顕著な安全活動等について評価し、選定した23受注者における平成 25 年度の完成工事を題材とした安全管理について優良な取り組みの事例を紹介しています。

土木建設業については、一時期の公共工事の削減等に伴う過度な価格競争などにより、若年入職者の減少が進み、現在及び将来の担い手確保が重要な課題となっています。

若手入職者の確保、育成のための取り組みは、産学官が連携しながら様々なアプローチを行っていくことが大切ですが、その一つとして、建設業に対して昔から言われる3Kのさらなる解消の取り組みが重要です。

この機会に、建設工事現場の安全管理を、受発注者共通のテーマとして再認識し、本事例集にある他の現場等で取り組んでいる優良な安全管理の取り組みを参考にして自らが関わる工事現場等の安全管理をさらに高度化するなど、建設業が「安全な産業」であるとの社会的認知を得ていく取り組みにつなげて頂ければ幸いです。

平成26年9月

北陸地方整備局 企画部長

## 平成26年度 安全管理優良受注者

NO.	受注者名	推薦事務所
1	株式会社安藤・間	利賀ダム工事事務所
2	酒井工業株式会社	金沢河川国道事務所
		金沢港湾・空港整備事務所
3	株式会社 関組	敦賀港湾事務所
4	相村建設株式会社	高田河川国道事務所
5	高尾建設株式会社	立山砂防事務所
6	坂本土木株式会社	神通川水系砂防事務所
7	株式会社近藤組	新潟港湾・空港整備事務所
8	株式会社小池組	羽越河川国道事務所
9	小柳建設株式会社	信濃川下流河川事務所
10	株式会社守谷商会	松本砂防事務所
11	株式会社伊藤建設	高田河川国道事務所
12	佐藤鉄工株式会社	新潟国道事務所
13	松本建設株式会社	富山河川国道事務所
14	株式会社ナカムラ	宮繕部
15	北陸パブリックメンテナンス株式会社	信濃川下流河川事務所
16	会津土建株式会社	阿賀野川河川事務所
17	株式会社種村建設	湯沢砂防事務所
18	長岡舗道株式会社	長岡国道事務所
19	本間道路株式会社	新潟国道事務所
20	株式会社婦中興業	富山河川国道事務所
21	大高建設株式会社	黒部河川事務所
22	横山建設株式会社	金沢河川国道事務所
23	川中島建設株式会社	千曲川河川事務所

(順不同)

# 株式会社安藤・間

- ◆対象工事名: 利賀湖面橋上部受託工事
- ◆発注事務所: 利賀ダム工事事務所
- ◆工期: 平成23年2月9日～平成25年12月10日
- ◆工事概要: PC橋上部工 橋長 348m  
アスファルト舗装工 延長348m他
- ◆工事成績: 81点



完成状況

## ○安全管理概要

本工事は、橋脚高が地上70m以上、最大支間長が164mの国内有数の長大橋梁で、狭隘・急峻な地形でかつ豪雪地帯という厳しい施工条件の工事であった。

現場関係者全てが安全に対する重要性を深く認識し、かつ安全に対する意識の高さが顕著であり、3年におよぶ工事を無事故で完成させた。安全管理に対する取組が評価され日建連から表彰を受け、全工期無災害について、厚生労働省労働局長の表彰も受けており、他の模範となるものである。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

全社員を対象に毎年安全推進大会を開催し、安全意識の高揚を図るとともに、安全活動に寄与した作業所、協力会社を表彰しており、当現場は優良賞等の表彰を受けている。

また、支店安全部と土木部が月1回以上、本店が年1回程度、全体で月3回以上店社安全パトロールを実施している。

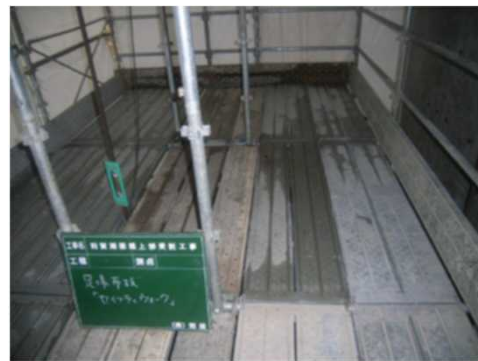
### 2. 工事現場における日々の安全活動について

工事施工前にリスクアセスメント手法による危険除去・低減対策を盛り込んだ作業手順書を作成し、作業手順周知会を全作業員参加で実施している。

また、隙間が無い「セイフティウォーク」、橋面や箱桁内の照明の確保、「ミストファン」や給水タンク等の熱中症対策、及び害虫対策など作業環境の向上に積極的に取り組んだ。



安全パトロール



セイフティウォーク

株式会社安藤・間

代表者：代表取締役社長 野村俊明

所在地：東京都港区赤坂六丁目1番20号

# 酒井工業株式会社

- ◆対象工事名:能越道 大泊道路その10工事
- ◆発注事務所:金沢河川国道事務所
- ◆工期:平成25年6月18日～平成26年3月31日
- ◆工事概要:盛土 土量5,670m<sup>3</sup>、掘削 土量4,480m<sup>3</sup>  
カルバート工 内高5.4×内幅5×延長36m他
- ◆工事成績:78点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は能越自動車道の富山石川県境付近において、工事車両出入口の地元制約がある中でボックスカルバート工及び鋼管抑止杭工等を施行した工事である。加えて大泊川下流に漁場があり、土砂流出が許されない状況であった。国道や県境部からの搬入搬出制限の中、1km先の事業用地から輻輳する3工区と調整を行い、片側交互通行や待避場など建設機材の運行管理に対応した。このような厳しい条件の中、工期内施工と地元対応含め、適正な施工管理と安全管理を行い、無事故で工期内に工事を遂行した。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動

店社の安全衛生計画に基づき、現場の安全衛生計画を作成し、朝礼から始まる安全施工サイクル活動を行っている。県境部からの搬入搬出制限の中、1km先の事業用地から輻輳する3工区と調整を行い、片側通行や待避場設置など安全な車両運行管理に対応した。特に谷部の急勾配区間は泥でスリップしやすくなるため、敷鉄板上を常にきれいに保っていた。

### 2. 安全教育の実施について

工事期間中は月2回の店社安全パトロールと安全教育を実施した。各部会等でも事故の災害事例と再発防止の説明・検討を毎月行っている。

協力会社については、職長安全衛生責任者特別教育を実施している。



工事用道路 敷鉄板



安全教育

酒井工業株式会社

代表者：代表取締役社長 岡田 康晴

所在地：石川県金沢市東力町二170番地



# 株式会社関組

- ◆対象工事名: 福井港海岸(福井地区)  
離岸堤消波工事(その3)
- ◆発注事務所: 敦賀港湾事務所
- ◆工期: 平成25年3月1日～平成25年8月30日
- ◆工事概要: プレキャスト部材製作工  
異形消波ブロック 650個 他
- ◆工事成績: 78点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、福井港海岸(福井地区)離岸堤に据え付けるテトラポッドを製作する工事である。  
本工事で使用する作業ヤードは、2件の工事が輻輳して消波ブロックの製作を行っており、作業ヤードにつながる進入道路は福井県等発注の消波ブロック製作工事や土砂運搬工事等でも使用し、最大4件の工事が輻輳する現場環境であった。工事が輻輳し、かつ狭隘な作業ヤードにおいて、様々な工夫を行い無事故無災害で工事を完成させた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

月2回の頻度で店社安全パトロールを実施し、安全パトロールには会社経営者層(常務)が参加するとともに、月1回は第三者機関(労務安全コンサルタント)にも同行してもらい、専門的知見からの指導を受けた。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

安全活動として、日々の作業打合せ、朝礼時のKY活動及び毎月の安全衛生協議会の開催など災害防止に努めた。

狭隘な作業ヤードでは、安全施設により車輛通路と作業員通路を区別して確保した。また、工事が輻輳する進入道路では、大型車輛の通行により凹凸が発生し安全な通行の支障となるため、隣接工事と協力し定期的に路面補修を実施した。また、粉塵を防止するため、散水車による散水を行うなど良好な作業環境を確保するための創意工夫をした。



安全パトロール



散水による粉じんの飛散抑制

株式会社 関組

代表者：代表取締役 渥美 宣夫 所在地：福井県越前市粟田部町6号26番地

# 相村建設株式会社

- ◆対象工事名: 関川河道維持掘削外工事
- ◆発注事務所: 高田河川国道事務所
- ◆工期: 平成25年5月17日～平成26年3月10日
- ◆工事概要: アスファルト舗装工 延長 1,609m  
浚渫工 浚渫量 40,200m<sup>3</sup>  
護岸工 法面積 648m<sup>2</sup> 他
- ◆工事成績: 78点



施工状況

## ○安全管理概要

関川管内の点在する箇所において、河道掘削と土砂運搬及び護岸工を施工する工事である。堤防天端や高水敷は散策・ジョギングなどの多くの河川利用者があり、利用者に配慮した施工計画と安全対策を実施し、搬出先が複数ある土砂運搬では、綿密な運搬計画と見張り員配置等、安全対策を充実させ、各種パトロールを徹底し無事故で工事を完成させた。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動

リスク評価を用いたリスクアセスメントKY活動及び現場巡視による危険源の排除に取り組んだ。特に夏期における熱中症災害防止を重点項目に掲げ、休憩施設及び対策用品の完備また、常時WBGT値の把握及び現場巡視による作業員個々の体調確認を実施し熱中症災害防止に努めた。

### 2. 安全教育の実施について

毎年、熱中症予防教育、冬期事故防止教育、交通事故防止教育を外部講師を招いて実施している。また有資格者を増員すべく外部講習を計画的に受講させている。安全大会では、安全衛生活動結果分析により弱点を把握し、専門講師を招き教育している。



WBGT値チェック表示



外部講師による冬期事故防止教育

相村建設株式会社

代表者: 代表取締役 相澤吉久

所在地: 新潟県上越市下源入186番地6

# 高尾建設株式会社

- ◆対象工事名: H25サブ谷砂防堰堤補強工事
- ◆発注事務所: 立山砂防事務所
- ◆工期: 平成25年3月30日～平成25年11月1日
- ◆工事概要: 軟弱地盤処理工 施工総本数111本 他
- ◆工事成績: 78点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、サブ谷砂防堰堤の補強対策として、新設第一副堰堤の基礎地盤処理として地盤改良を行う工事である。本工事は真川と湯川の合流点より下流約600mに位置し、河川内での厳しい施工条件の下、大雨等の異常気象時の対策、建設機械による事故防止対策等、きめ細かい安全対策を実行し、日々の安全管理も適切に行われ無事故、無災害で工事を完成させた。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動

日々の朝礼、KY活動、始業・終業点検を実施し、作業従事者の安全意識の向上を図り、安全衛生点検、水位監視による安全設備の確認、気象状況を常に把握し、適切に安全管理を行っている。

また、工事用道路では安全看板、カーブミラーの設置により第三者に対する安全対策、現場内では異常事態に備え、緊急避難路を整備するなど、安全に細かな配慮がなされた。

### 2. 安全教育の実施について

作業に従事する社員を積極的に安全講習に参加させ、技術の向上を図るとともに安全意識の向上に努めた。毎月の安全教育では、AEDの使用法、避難訓練、重機の作業半径内周知、玉掛方法などの実践訓練を実施し、きめ細かい教育に取り組んだ。



緊急避難路



避難訓練

高尾建設株式会社

代表者：代表取締役 高尾 道明

所在地：富山県富山市本宮1073番地



# 坂本土木株式会社

- ◆対象工事名: 跡津川流木対策工その3工事
- ◆発注事務所: 神通川水系砂防事務所
- ◆工期: 平成25年4月12日～平成25年10月28日
- ◆工事概要: 掘削、切土工 450m<sup>3</sup>  
砂防ダム工 H=14.5m他
- ◆工事成績: 80点



施工状況

## ○安全管理概要

当該現場は、国道41号線から幅員の狭い市道を利用しており、輻輳するトンネル工事受注者や市道工事受注者と安全協議会を設置し、施工中の安全対策、工事車両の通行などの工程調整を図りながら実施した。また、東大・カミオカンデ(研究所)へ来る外国人研究者に対し、英語表記の工事看板を設置し、第三者への安全対策にも工夫を行った。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

社長を委員長とした「安全衛生委員会」の組織を設け、規定を定め、月1回開催し、安全衛生、労働衛生、教育等「安全衛生活動計画等」が充実している。

また、施工計画作成にあたって、「社内検討会」を設置し、安全管理を含めて検討の上作成している。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

外部講師を招いての安全教育、店社・現場合同安全パトロールを月1回以上実施し、専門家による厳しい指摘や第三者から見た指摘により、専門的な知識及び新たな情報を得て、現場の安全意識の向上及び改善を図った。

また、当該現場は、管内でも流量(計画流量 $Q=1,069\text{m}^3/\text{s}$ )が多い跡津川の上流に位置し、通信環境が悪い中で電話回線を独自で引き込み、気象状況等の把握を行い、安全管理に努めた。



建設労働災害防止大会



気象状況の把握

坂本土木株式会社

代表者: 代表取締役 坂本 重雄 所在地: 岐阜県飛騨市神岡町麻生野514番地22

# 株式会社近藤組

- ◆対象工事名:新潟港海岸(西海岸地区)  
護岸養浜工事(その2)
- ◆発注事務所:新潟港湾・空港整備事務所
- ◆工期:平成25年10月2日～平成26年3月25日
- ◆工事概要:掘削、切土工 25,000m<sup>3</sup>  
盛土、埋戻し工 25,000m<sup>3</sup>他
- ◆工事成績:79点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、冬期間における養浜砂の運搬が主たる工種で、交通管理が最も重要な安全対策の課題である。本施工者はこの課題に対し、①外部講師招聘による安全教育の実施、②アルコールチェッカーによる日々の安全管理、③ダンプトラックペアリング始業前点検等、独自の創意工夫を行う事により無事故で工事を完成させている。

また全国建設業労働災害防止大会で自社の安全衛生管理活動について発表し、建設業の安全管理意識向上への貢献が大であり、他の規範となる工事及び会社である。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動について

現場の作業期間中、店社では月2回の安全パトロールの実施、作業現場では、4時間/月の安全教育の実施、新規入場者教育、日々の安全ミーティングが確実に実施され、作業の安全確保と作業員の安全意識の向上に努めている。また各種講習会を受講し、工事特性を踏まえた安全衛生活動等の習得に努めている。

### 2. 安全教育の充実について

店社では、年度の安全衛生計画で「安全衛生目標」を掲げ、具体的に「重点実施事項」に対する具体的な「目標」や「担当者」を定め活動を行っている。

作業現場では、作業内容に応じた安全教育を実施している。特に新潟県警交通課や新潟県社会保険協会の外部講師を招聘し、実践的な訓練を行っている。



アルコールチェッカー



外部講師を招いた講習会

株式会社近藤組

代表者：取締役社長 近藤 正 所在地：新潟市中央区稲荷町3535番地1

# 株式会社小池組

- ◆対象工事名:海老江河道掘削その2工事
- ◆発注事務所:羽越河川国道事務所
- ◆工期:平成25年3月28日～平成25年9月23日
- ◆工事概要:掘削工 36,800m<sup>3</sup>
- ◆工事成績:80点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は一級河川荒川河道内において、河道を広げ河川流下能力向上を図り地域防災に資する目的で、堆積土砂の掘削及びそれに伴う土砂運搬を行う工事である。工事区間は荒川河口部に位置し、年間を通じて鱒・鮎・鮭漁等の漁場であるため、地元及び県外釣り客が多く訪れる場所でもある。

出水期(6月～9月)の施工であることから、工事箇所最上流部に仮設搬入路を兼ねた仮締切を設け増水に備えた。またハザードマップを活用した車両運転手教育の実施や運搬経路を工区毎に調整してスムーズな運行管理を行うなど十分な安全管理を実施して無事故・無災害で工事を完成させた。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動について

工事現場内において、ポータブルトラックスケールによるダンプトラックの過積載防止対策の実施、土砂運搬車に交通事故防止を目的とした各種ステッカー(過積載防止ライン・運転手顔写真入り・昼間ライト点灯中)の掲示や、元請店社安全衛生管理者及び下請運搬業者の運行管理者による運搬路の巡視点検の実施などの創意工夫が見られた。

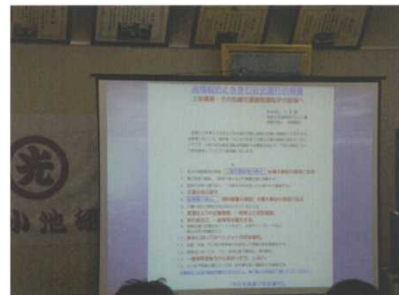
### 2. 安全教育の充実について

店社では、積極的に安全講習会に参加し、資格取得や安全に対する意識の向上を図っている。現場においては元請・下請幹部参加による土砂運搬車両安全大会を開催し、車両運転手・交通誘導員・掘削土工班作業員を対象に安全教育を実施した。

また、工事の主要工種である掘削及び土砂運搬時における事故に迅速に対応するため緊急時連絡一覧表カードを作成し、安全教育・訓練において全作業員に配布周知すると共に、車内に常備し緊急時の連絡体制強化を図った。



重量計測



新規入場時教育

株式会社小池組

代表者：代表取締役 小池 善成 所在地：村上市宿田330-1



# 小柳建設株式会社

- ◆対象工事名: 三条出張所管内堤防等維持管理工事
- ◆発注事務所: 信濃川下流河川事務所
- ◆工期: 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- ◆工事概要: 維持修繕工 一式他
- ◆工事成績: 79点



施工状況

## ○安全管理概要

当該工事は、広範囲かつ、常に緊急度が高く、同時に多種多様な作業が行われ、工期も1年間であることから、常に近隣耕作者や地域住民との良好な関係を保った。特に公衆災害を未然に防ぐような安全管理を必要とする工事であるが、当該受注者は、事故・苦情等なく工事を完了させた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

社内に「安全衛生管理委員会」を設け、協力会社を含め毎年6月に開催する安全大会において、そこで災害防止に対する重点目標を設定している。当該工事現場においても毎月委員会または当社役員等による現場安全パトロール、外部講習会への積極的な参加、社内講習会の開催等を実施するなど積極的に活動し成果を得ている。当該工事の特徴をとらえ、会社として現場に合った安全管理方法を指導する支援体制が確立されて、安全管理の意識が高い。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

点在かつ毎日移動する作業現場での工事において、安全施設の設置状況等に不備が無いか当日のKY活動で確認された事項について日々携帯電話で送信されてきた映像を確認し、的確な是正指導や周知を行う「携帯電話による安全管理システム」を導入している。当日の作業場所の状態を電送写真によりリアルタイムで確認し、毎日10社近くが従事していた除草・維持工事の安全管理の効率化を図っている。作業場所の移動、地域住民や他工事との工程調整等を行いながら作業を行う必要がある。毎朝、作業内容と他工事との混在の有無、交通状況の確認等の情報を作業員に対し、ホワイトボードを使った大きな管内図で視覚的に周知させ、毎日、危険要因の対策を全員に理解させている。



労働安全衛生委員会



ホワイトボードを使った管内図

小柳建設株式会社

代表者：代表取締役社長 小柳 卓蔵

所在地：新潟県三条市東三条一丁目21番5号



# 株式会社守谷商会

- ◆対象工事名: 葛葉山腹工法面工その5工事
- ◆発注事務所: 松本砂防事務所
- ◆工期: 平成25年5月10日～平成25年12月5日
- ◆工事概要: 法面工 延長 130m他
- ◆工事成績: 80点



施工場所全景

## ○安全管理概要

当該工事は、高さ100mを越える急崖斜面で厳しい現場条件であったが、航空写真やモバイルカメラ・定点観測などを活用して地山の挙動監視により安全施工に努めたこと及びロックボルトの施工方法においては、安全の向上を図るためハングドリルの改良を行った。また、レーザーバリヤによる高圧線下でのクレーン作業に取り組む等、事故防止に努めていることは他の模範となるものである。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動について

- ・新規入場者教育は工種に応じた資料も含め実施。
- ・伸縮計、傾斜計の設置及び毎日の地山経過観測の実施。
- ・モバイルカメラによる地山監視の実施。
- ・レーザーバリヤによるクレーンと送電線接触防止対策の実施。
- ・航空写真による危険箇所の把握の実施。

### 2. その他の顕著な活動について

- ・全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会にて論文を発表（平成26年6月13日、東京）(全国5論文に選定される)
- ・現場研修生の受入れ(筑波大学大学院生1名、日本大学1名)



伸縮計設置状況



全国砂防関係工事安全施工管理技術  
研究発表会

株式会社守谷商会

代表者：代表取締役社長 伊藤 隆三 所在地：長野県長野市南千歳町878番地

# 株式会社伊藤建設

- ◆対象工事名: 須沢護岸その2工事
- ◆発注事務所: 高田河川国道事務所
- ◆工期: 平成25年4月27日～平成26年3月10日
- ◆工事概要: 護岸工 延長 108m他
- ◆工事成績: 79点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、一級河川姫川の糸魚川市須沢地先の左岸において、根継ぎ護岸工と根固め工及びブロック製作工を行った工事である。隣接する工事との調整を図るとともに、瀬替え工については、急流河川を考慮し十分な安全を確保しながら施工して、無事故で完成した。また、北陸新幹線橋梁や、埋設取水管に配慮し、関係機関と調整を図り、電力会社の放水の止水期間に対応した工程管理を行い、工期にゆとりをもって完成した。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全対策について

災害防止協議会を毎月開催し、現場内に重点目標の周知を図り店社パトロールの指摘事項に対する是正措置などの報告をするとともに指導育成を行った。環境表示機を設置して熱中症対策や突風などへの対応に活用して、無災害に貢献した。

### 2. 安全教育の充実について

新規入場者教育において、現場の特徴や注意事項を周知させていた。また、品質計画や創意工夫・イメージアップなどについて、会議形式で討議し記録に残し安全意識の向上に努めている。

また、月1回の安全教育には、社長自ら参加して周知徹底している。



風速計測



安全教育

株式会社伊藤建設

代表者: 代表取締役 伊藤 友盛

所在地: 新潟県糸魚川市大字須沢 2 6 3 7

# 佐藤鉄工株式会社

- ◆対象工事名: 金丸大橋耐震補強工事
- ◆発注事務所: 新潟国道事務所
- ◆工期: 平成25年5月29日～平成26年2月28日
- ◆工事概要: 支承取替、コンクリート充填補強他
- ◆工事成績: 78点



施工状況

## ○安全管理概要

金丸大橋耐震補強工事は橋長約160mのアーチ橋と鉸桁橋の耐震補強工事で、国道113号と村道ハツ口線を供用しながらの施工のため、特に一般車両への安全対策が重要とされた。中でもアーチ橋への高流動コンクリート充填時には、作業箇所付近を一般車両が通行するため、充填確認孔から橋面まで配管し、オーバーフローしたコンクリートが通行車両にかからないよう安全を確保した。また、住民とのトラブルも無く、無事故で完成した。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

毎月の店社パトロールにおいて、店社安全衛生管理者だけでなく、本社の役員が現場をパトロールすることで店社と作業所の一体感を図っていた。合わせて、本工事の社内検討会を施工計画書提出前および工事施工開始時に実施することで、施工がスムーズかつ安全に進捗するよう店社と作業所との意識の統一を図っていた。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

午前の作業前のKY活動で、当日の作業の危険予知と対策について検討し、午後の作業前の工程打合せで翌日の作業内容と安全に対する指示・指導を行っていた。合わせて、午前と午後に職員による安全巡視を実施し、安全対策に抜けがないかを確認していた。



店社パトロール



KY活動

佐藤鉄工株式会社

代表者：代表取締役社長 村田 正 所在地：富山県中新川郡立山町鉾木220番地



# 松本建設株式会社

- ◆対象工事名: 能越道 脇地区女良  
農免道路函渠その2外工事
- ◆発注事務所: 富山河川国道事務所
- ◆工期: 平成24年11月9日～平成25年12月24日
- ◆工事概要: カルバート工  
延長27m×内幅9.4m×内高12.2m外
- ◆工事成績: 78点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、能越自動車道七尾氷見道路事業のうち、富山県氷見市脇地区において、能越自動車道と交差する女良農免農道及び轟川の付け替え函渠を新設する工事である。

函渠工事は、冬期から夏期に渡る自然気象条件の厳しい環境において、工事箇所が点在する現場であったが、冬期の施工では自主措置として雪寒假囲いの設置、夏期の施工では複数の熱中症対策等による適切な安全対策を施し、良好な作業環境の創出に努め、1年を超える工期の中、無事故・無災害で完成させた。

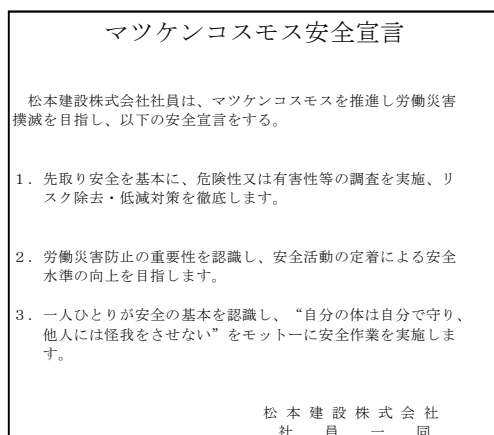
## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

建設業労働災害防止協会のCOHSMS認定基準により認定された会社独自の建設業労働安全衛生マネジメントシステム「マツケンコスモス」を推進し、建設現場でのリスク低減、安全活動の定着に主眼を置き、社長を中心として店社と作業所が一丸となって継続的な安全水準の確保・向上に努めている。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

- ・KY活動は作業従事者全員が参加し、リスク要因を特定し低減措置に努めている。また、熱中症の時期は朝礼時のほか昼礼時も体調の確認を行っている。
- ・現場内の点検は、午前・午後の2回、安全巡視員と統括安全責任者が別々に安全巡視を行い、始業前、終業時は重機、仮設物の取扱担当者が点検を行っている。



現場パトロール

松本建設株式会社

代表者：代表取締役社長 松本 誠一

所在地：富山県砺波市千保297



# 株式会社ナカムラ

- ◆対象工事名:新潟港湾合同(12)空調設備改修工事
- ◆発注事務所:営繕部
- ◆工期:平成25年2月22日～平成25年6月28日
- ◆工事概要:空調設備工 一式他
- ◆工事成績:82点



完成状況

## ○安全管理概要

本工事は、老朽化した空調設備の熱源機器等の更新を行う改修工事である。この庁舎は敷地が狭隘で、24時間勤務体制の官署があり、常時職員が執務する状態や来客者の往来がある中での工事であった。受注者は着工当初から発注者、関係官公署、入居官署職員との綿密な打合せを積極的かつ主体的に実施し、安全に工事を進め、入居官署職員や外来者、周辺住民からの苦情が無く、求められた品質以上の施工品質を確保した。また、現場での安全教育や作業器具に対しても工夫した取組を行い安全を確保した。

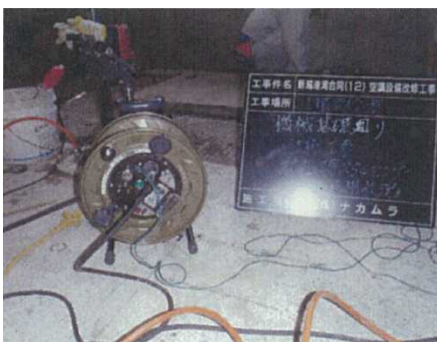
## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動について

- ・工事工程の進捗状況に応じて災害防止協議会を月1回実施し、記録も整備されている。
- ・揚重機の公道設置に伴い、公衆災害、交通事故対策の為、交通整理員を増員するなど適切に実施している。
- ・各工種で作業前にKYミーティングを実施し、記録も整備されており、店社安全パトロールを月1回実施し、指摘された事項について速やかに是正報告して、作業員に周知している。
- ・コンクリート埋設配管等の損傷防止の為、メタルセンサー式コードリールを使用するなど創意工夫をしている。

### 2. 安全教育の充実について

工事現場において墜落災害防止、車両系建設機械災害防止など、テキストやビデオを用いて毎月4時間の安全教育を、工事工程に応じた内容で実施している。



メタルセンサー式コードリール



安全教育

株式会社ナカムラ

代表者: 代表取締役社長 田中 弼

所在地: 新潟市中央区米山4丁目6番12号

# 北陸パブリックメンテナンス株式会社

- ◆対象工事名: 関屋出張所管内堤防等維持管理工事
- ◆発注事務所: 信濃川下流河川事務所
- ◆工期: 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- ◆工事概要: 維持修繕工 一式他
- ◆工事成績: 79点



施工状況

## ○安全管理概要

当該工事は、広範囲かつ、常に緊急度が高く、同時に多種多様な作業が行われ、工事工期も1年間であることから、常に近隣耕作者や地域住民とも良好な関係を保ちつつ、特に公衆災害を未然に防ぐような安全管理を必要とする工事である。

当該受注者は、安全管理・指導・教育を積極的に行い、協力業者を含め安全意識の向上に取り組んだ。また、緊急の指示に対しても、適切に体制を確保し事故無く作業を完了した。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

社内の安全管理体制は、店社安全パトロールでは店社安全管理責任者の他、社長自ら点検に参加し、安全施工の指導・作業員の意識向上に努めた。

災害防止協議会では、毎月の安全重点目標を決め、安全パトロールを実施。協力業者と一体となった安全体制確保に努めた。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

日々の安全活動は、朝のミーティング、KY活動、使用機器点検、現場の安全巡視を行い、リスクアセスメントを取り入れ、リスクの低減に努めている。

除草作業のやすらぎ堤区間では、河川利用者に対し、区間の明示、監視員の配置、音声による注意喚起等活用し安全対策を行った。



安全パトロール



トークナビ設置状況

北陸パブリックメンテナンス株式会社

代表者：代表取締役 平田 五男 所在地：新潟県新潟市江南区横越上町4-10-7

# 会津土建株式会社

- ◆対象工事名: 北部排水トンネル集水ボーリングその3工事
- ◆発注事務所: 阿賀野川河川事務所
- ◆工期: 平成25年3月12日～平成26年1月24日
- ◆工事概要: 地下水排除工 35本他
- ◆工事成績: 78点



完成状況

## ○安全管理概要

本工事は、狭隘な小断面トンネル内での有毒ガス発生や酸欠に警戒するなど作業環境を維持しながら、地すべり区域において、地山収縮に対応するため二交代制で朝方まで上向きボーリング工を行うなど、厳しい現場環境であった。

当該受注者は、各種安全対策に積極的にとりくみ、酸欠・粉塵・換気・照明・温湿度等に配慮し、良好な作業環境を確保するため計画的に準備をすすめるなど、日常的な現場及び店社の安全管理活動が顕著であった。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

安全衛生遵守規定の整備、安全管理組織を確立し、安全衛生委員会規約を制定して、安全管理基本的事項を「工事の遵守項目」として具体的に明示している。

また、年度安全衛生管理方針を確立し、目標、スローガン、重点実施事項、実行計画及び月別展開の年間計画を定め、それに基づき実施している。

施工計画書作成の社内検討会では、チェックシート及び品質目標実行計画書を作成し、検討結果の記録文書を社長まで供覧して確認するなど、社内体制が充実している。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

災害防止協議会を毎月開催し、作業手順書について作業区分毎に詳細に作成し、全作業員へ周知するとともに、安全施設の各対策については現場条件に対応した安全施設等を的確に設置し、危険予知活動は、夜勤も含めリスクアセスメントも併せて行っている。

安全に関する創意工夫を4項目程度行い、地すべり検知対策として伸縮計ユニットにて警報発信するシステムを運用するなどした。



安全大会



伸縮計ユニット

会津土建株式会社

代表者：取締役社長 菅家 洋一 所在地：福島県会津若松市追手町5-36



# 株式会社種村建設

- ◆対象工事名: 檜倉砂防堰堤災害復旧工事
- ◆発注事務所: 湯沢砂防事務所
- ◆工期: 平成24年3月8日～平成25年8月30日
- ◆工事概要: 砂防ダム工 主ダム高 9m他
- ◆工事成績: 80点



完成状況

## ○安全管理概要

当該工事は、「平成23年7月新潟・福島豪雨」による出水で被災した堰堤の復旧工事である。本堤右岸袖部が流出した際に地山が大きく洗掘され、オーバーハング状の崖が形成されたことから、地質調査の結果、転倒崩壊及び上部からの落石等が懸念されたため無人化施工により作業員の安全確保を図りつつ無事故で工事を完成した。

受注者は、無人化施工の経験がなかったため会社として施工計画書作成時に施工検討会を実施するとともに、無人化施工経験のある他社(長野県内業者)へ出向きアドバイスを受ける等、会社全体で安全管理に努めた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

毎月「店社パトロール」を実施し、是正事項はその場で口頭指示を行い、重要案件は併せて「安全指示書」による文書指示を行うこととしている。是正後は安全管理者への報告、安全管理者による確認(臨場、写真等)が行われる。また、原則パトロールを実施した日に「安全大会」を開催し各現場のパトロール結果について報告し、全社員に周知・情報共有を図っている。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

朝の安全朝礼に始まり、KY活動、作業手順の確認、機械器具の点検、安全施設の点検、作業現場の巡視、そして終業時の片付けまでの「安全施工サイクル」を現場職員、作業員が一体となって確実に実施している。



安全パトロール

株式会社種村建設

代表者：代表取締役 種村 成徳 所在地：新潟県南魚沼市水尾417番地



# 長岡舗道株式会社

- ◆対象工事名: 国道8号福島新田舗装修繕工事
- ◆発注事務所: 長岡国道事務所
- ◆工期: 平成25年5月16日～平成25年9月30日
- ◆工事概要: アスファルト舗装工 延長 1,200m他
- ◆工事成績: 80点



完成状況

## ○安全管理概要

本工事は交通量の多い(30千台/日)国道8号において片側交互通行箇所での夜間工事を実施したものである。日々のKY活動+リスクアセスメントにおいて危険ポイントを確認した。作業前後の危険作業を徹底確認し、日々リスクアセスメントによる社内規定による評価点を点数制にした。交差点の交通規制では視認性の高いソーラー式点滅灯を使用した。路面切削工後の交通開放には自転車やバイクによる転倒防止処置を実施した。真夏の作業の為熱中症対策の充実を図り、作業中の対策を義務付けた。

## ○評価ポイント

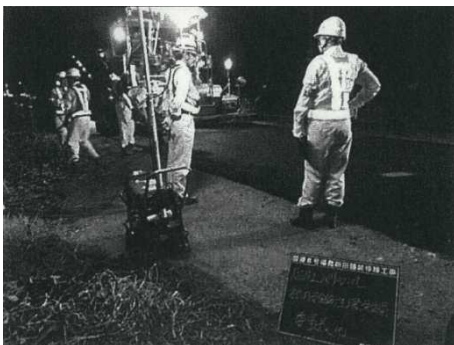
### 1. 社内の安全管理体制について

安全衛生管理規定等を整備し、それに関する組織が明確である。安全衛生委員会を7名で組織して年間の安全衛生管理計画書に基づき安全大会を1回/半年、安全パトロール1回/月を実施している。各現場においては1回/月以上を基本とし、過半数以上の安全衛生委員会が現場を巡回して、注意喚起及び事故防止対策を策定している。冬季においては社員全員がインフルエンザ等予防接種を実施しており、職場衛生環境にも十分配慮している。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

日々のKY活動において特に作業終了後の作業状況を確認することによって毎日是正処置活動を行っている。(作業後安全確認)

また、日常の安全巡視においては是正事項をすぐに行っており新規入場者教育を現場特徴に合わせた資料に基づき実施している。



安全パトロール



危険予知活動トレーニング

長岡舗道株式会社

代表者: 取締役社長 細川 恭一 所在地: 新潟県長岡市下山町651番地1

# 本間道路株式会社

- ◆対象工事名: 万代橋下流橋 西堀・東堀舗装工事
- ◆発注事務所: 新潟国道事務所
- ◆工期: 平成24年6月28日～平成26年3月31日
- ◆工事概要: 路盤路床工 施工量 5,300m<sup>3</sup>  
アスファルト舗装工 延長 200m他
- ◆工事成績: 83点



完成状況

## ○安全管理概要

当該受注者は、毎年掲げている安全重点目標を安全大会及び安全衛生環境委員会等で技能社員を含む全社員と協力業者に周知し、労働災害及び公衆災害防止に努めている。

本工事は、数回に及ぶ現道交通の切り回しや占用物件との並行作業など厳しい現場条件であり、リスクアセスメントを取り入れた現場KY活動で事故防止に努めた。また、技術及び技能社員参加の社内研修において、外部講師を招いた安全教育を行い、安全管理体制のレベルアップを図っている。日本道路建設業協会など各種協会が主催する安全管理活動、ボランティア活動にも積極的に参加し、安全衛生管理の向上と地域貢献に寄与している。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

安全衛生管理規定に基づき、毎年、安全重点目標を定め安全管理計画を策定している。安全管理体制として、社内の安全衛生環境委員会、緊急連絡体制など組織を整備し、安全活動として毎月の安全衛生環境委員会及び毎月随時の安全パトロール活動を行っている。また、年1回、協力業者を含めた「安全大会」を実施している。本工事では、毎月の店社安全パトロールを実施し、指摘事項については関係者に是正及び再教育を行って現場に反映させた。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

新規入場時、「安全のしおり」、「作業手順書」、「作業計画書」等の説明資料に基づいて作業員全員に周知徹底し、リスクアセスメント手法を取り入れたKY活動を実施して現場作業に従事させた。また、日々の安全指示事項等については統括安全衛生責任者による現場巡視を行って確認した。是正事項等は、関係者及び作業員に周知し安全施工サイクルの完全化を図った。



安全パトロール



新規入場者教育

本間道路株式会社

代表者：代表取締役社長 渡辺 亮三 所在地：新潟県新潟市中央区柳島町1-5-1

# 株式会社婦中興業

- ◆対象工事名:神通川耐震対策その3工事
- ◆発注事務所:富山河川国道事務所
- ◆工期:平成25年1月22日～平成26年1月31日
- ◆工事概要:護岸工 延長 132m他
- ◆工事成績:79点



施工状況

## ○安全管理概要

本工事は、一級河川神通川において、地震による液状化対策として、堤防法尻部に排水機能付き鋼矢板を打設する耐震対策工事である。

作業環境は、河口付近での出水期間中の工事であり、潮位の影響や出水の恐れがある厳しい環境でありながら、隣接工事と連携して24時間の水位観測体制等を整え、無事故・無災害で工事を完成させた。また、工事連絡会の会長(統括安全衛生管理義務者)として、工程調整や安全管理の他、安全に対する創意工夫にも積極的に取り組んだ。

## ○評価ポイント

### 1. 工事現場における日々の安全活動について

安全朝礼を隣接工事と合同で行い、当日の作業内容・安全指示事項を作業員全員に周知徹底し、事故防止に努めた。また、1日の安全施工サイクル(ラジオ体操・朝礼・リスク低減対策KYK・始業前点検・安全巡視・作業予定打合せ・持場の片付・終業時点検)及び5S運動(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)を確実に実行し、作業員の安全意識の向上や作業環境の改善に努めた。

### 2. 安全教育の充実について

店社では全国安全週間に安全大会を開催し、職員全員の安全意識の向上を図るとともに、定期的(月1回)に全現場代理人が出席する安全会議を実施している。また、現場では3社合同の安全教育・訓練を積極的に呼び掛けるとともに、外部講師(警察署・消防署)を招いての様々な専門知識の習得に努める等、各作業員の安全意識の向上に努めた。



合同安全朝礼



外部講師による安全講習会

株式会社婦中興業

代表者:代表取締役社長 竹内 茂 所在地:富山県富山市婦中町速星478



# 大高建設株式会社

- ◆対象工事名: 愛本床止常水路補修その1工事
- ◆発注事務所: 黒部河川国道事務所
- ◆工期: 平成25年5月18日～平成26年3月26日
- ◆工事概要: 床止工 本体水叩きの長さ 15m他
- ◆工事成績: 81点



完成状況

## ○安全管理概要

黒部川で最も狭窄部での工事であり、かつ、流水を転流させるための仮締切工を施工し、日々、始業時、昼休み後、終業時に締切の異常、変状の確認を実施するとともに、愛本堰堤(許可工作物)直下流での作業であることから、管理者の許可を得て操作室内に監視員を配置し、放流状況の情報を随時入手出来るようにするなど、現場の安全を最優先し工事を竣工させた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

- ・「安全衛生管理規定」、「安全衛生管理組織」が整備されており、「安全衛生委員会」、「安全衛生管理計画」も整備されている。
- ・毎月2回以上の社内安全パトロールが実施され、第三者(外部機関)参加のパトロールを実施し、視点を変えた安全管理が行われている。

### 2. 工事現場に おける日々の安全活動について

- ・各作業班毎にKYを実施し、内容を発表して当日の安全行動目標を周知している。
- ・使用機械・工具等の始業前点検が確実にされている。
- ・現場巡視を確実に実施し、記録に残している。また、巡視時に発見した不安全行動等は、その場で注意し改善している。
- ・機械・重機等の終業時点検を行うとともに、保管場所を決め適切に管理している。
- ・降雪期での施工箇所にある橋梁からの落雪・落氷に対し、作業着手前の除雪を徹底している。



安全教育



放流量監視員

大高建設株式会社

代表者: 代表取締役社長 大橋 聡司 所在地: 富山県黒部市宇奈月温泉633-1

# 横山建設株式会社

- ◆対象工事名:小松工区浜佐美災害対策工事
- ◆発注事務所:金沢河川国道事務所
- ◆工期:平成25年3月1日～平成25年12月20日
- ◆工事概要:海洋埋立工 施工量 13,000m<sup>3</sup>  
海岸構造物工 延長 22m他
- ◆工事成績:78点



施工状況

## ○安全管理概要

10人規模の会社であるが、安全衛生規程を策定し、安全衛生計画を立て毎年年度末に実施結果を総括し、安全に関するスパイラルアップを図っている。更に安全パトロールの結果を毎月開催する安全衛生委員会により社内で水平展開をはかりレベルアップを図っている。

また、石川海岸で前例のない冬期養浜工事をH24、H25の2カ年に実施した際も受注者は安全への取り組みを行い無事故で完成させた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

店社安全パトロールは月1回以上で行い、現場状況に応じて船上・夜間・陸上を対象とした。設計照査前には、施工検討委員会を開催し、安全性を確認した。安全衛生委員会を毎月開催し、安全パトロール結果を水平展開し、全体のレベルアップを図った。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

KY活動・建設機械作業計画書・安全巡視点検の他、各種点検簿を作成し、波浪予測も導入して、安全性を高めた。

10tダンプを用いるため、過積載ラインを設けて全台数を管理し、事故防止に努めた。また、体調判定カードを導入し、作業員の体調管理に努めた。



安全パトロール



波浪情報予測

横山建設株式会社

代表者: 代表取締役社長 横山 雅宏 所在地: 石川県小松市向本折町午181番地

# 川中島建設株式会社

- ◆対象工事名:天神護岸その3工事
- ◆発注事務所:千曲川河川事務所
- ◆工期:平成25年3月14日～平成26年3月28日
- ◆工事概要:護岸工 延長 162m他
- ◆工事成績:78点



完成状況

## ○安全管理概要

堤内地側に大型ショッピングモールのある区域で、堤防天端の兼用道路は交通量が非常に多いため、歩車道と工事区域を明確に分けて施工管理を行い、第三者災害の防止を図った。

また、当該工区を上下及び左右に分轄施工する事によって、重機と労働者の輻輳作業を減らし労働災害の防止に努めた。

天神他工事連絡会の副会長として、安全パトロールの実施や各工事の工程の調整を図り、労働災害・第三者災害の防止に努めた。

## ○評価ポイント

### 1. 社内の安全管理体制について

- ・毎年策定している「安全衛生管理計画」に基づき、専任の職員による店社パトロールを定期的を実施し、是正処置も速やかに行われている。
- ・店社パトロールのほか幹部職員によるパトロールを実施して、スピーディーに社内での安全に対する水平展開を図っている。

### 2. 工事現場における日々の安全活動について

- ・KY活動はもちろん、「作業打合表・安全衛生日誌」を活用し、日々の変化する作業内容に即した安全活動が展開されている。
- ・現場における工種ごとの作業手順書を用いて、事前に職長と打ち合わせているほか、施工中にあっても手順書の見直しを積極的に実施し、改善の工夫がみられる。



安全施設



安全教育

川中島建設株式会社

代表者：代表取締役 加藤 智久 所在地：長野市篠ノ井布施高田955番地3



北陸地方整備局 企画部 技術管理課

TEL 025-280-8880 FAX 025-280-8861

HP <http://www.hrr.mlit.go.jp>

ご意見・ご要望等がありましたら上記までお寄せ下さい。